

房総 だより

(農)房総食料センター

千葉県山武郡横芝光町上原 368-1

<http://www.boso.or.jp/>

☆産地情報をお知らせします。

発行：2015年4月20日

野菜よまやま話

かぶ

旭市の湯浅時孝さんの畑は、海から 3km ほど内陸に入ったところにあり、土質はさらさらの砂質土壌です。そのため肥料分が抜けやすく、肥料の管理では肥えた土とは違う苦労があります。乾燥した状態で強風が吹くと、土が飛んでしまうことも。しかし、悪いことばかりではなく、砂質土壌は水はけがいいので、雨が上がるとすぐ畑に入る事が出来ます。天候不順な時期も、タイミングを見ては、まめに畑へと足を運びます。

今、出荷しているかぶを見せていただきました。かぶは白い球の部分か土に埋まっているかと思われている方が多いのですが、先の細い根だけが土にしがみつくように埋まっていて、白い球は地表に出ています。地表に白い球が並んでいる姿は、かわいらしくも感じます。収穫もグイグイと抜くのではなく、優しくすっと抜いていきます。

収穫後の洗浄では、肌を傷つけないように気を付けています。こうして育てたかぶを本人は『砂丘かぶ』と呼んでいます。(B)



旭市の湯浅時孝さん。
丸々と太ったカブを
収穫してにっこり。